

LANI・CAFÉ

だより



October 2016

2016年10月号

# 14年の歴史



2010年



2016年

## LL第1自習室からランゲージセンターへ

今ではもうあまり知られていないけれど、2011年度までのランゲージセンターは、“1つの部屋に多くのものが密集している”という雰囲気の一部屋でした（写真左）。それが Language Café のオープンをきっかけに大改造計画が進み、現在の開放的な空間に変わりました（写真右）。そして、後に名称も「LL第1自習室」から「ランゲージセンター」へと。

この大改造は、私が在職していた期間の中でも No.1 の出来事でした。ただスペースを作るだけでなく、これまで通りの利用のしやすさにも配慮しなければならないので、スタッフ全員で試行錯誤を繰り返しながら、重い書棚や机の移動、配線の移動など全て私達スタッフの手で完成させました。だからこそ利用者に「居心地が良い」、「落ち着く」と言ってもらえるのは、最高の褒め言葉です。

まだセンターを利用したことのない人、どれくらいいるのかな？スタッフはみんな優しく親切かつ面白さも兼ね備えているので、利用だけでなく、スタッフとの交流が良い息抜きにもなると思いますよ。

## 卒業はもうそこまで…

14年という月日は、一見とても長く感じますが、振り返ると決して長くはありません。むしろ短くらい。14年間、私は語学教育研究室のスタッフの一員として勤め、多くのスタッフ仲間や教職員の方々との出会い、学生たちとの交流に恵まれ、非常に充実した職員生活を送ることができました。もちろん仕事の厳しさもしっかりと学びながら、社会人のノウハウや様々なスキルを修得し自信がつくことで、心のゆとりがより一層広がっていきました。

語学教育研究室での日々は私の誇り。大袈裟でも何でもなく、素直にそう思えます。できることなら、まだまだスタッフの一員として携わっていたいけれど、そうはいかないので、これからは、ホームページで語学教育研究室の新しい変化を楽しんでいきます。なので、更新をよろしく願いますね(笑)

最後に、14年間で出会った方々へ。皆さんと出会い、ともに仕事ができたと、大切な大切な思い出です。本当にありがとうございました！！

豊橋語学教育研究室事務室 加藤雅子



## Hi! Hello! 你好! Ça va!

今日も Language Café に多彩な言語が飛び交います。学生はランチを持参し、ネイティブの先生・友人たちとラフな時間を楽しんでいます。

センターでは、利用者のみなさんが気軽に語学に触れられるように様々な工夫に取り組んでいます。

話題に上っているタイムリーな資料の品揃え。お正月・七夕・ハロウィン・クリスマス・・・世界の文化を巡る、四季折々のデコレーション。

教員おススメの資料を印象的にディスプレイし、教員と学生を結ぶ場所となれることも心掛けています。学部に限らずオープンカレッジ生も多く利用されているので、幅広い年齢層のみなさんとの交流が出来ることも魅力のひとつではないでしょうか。

街中のカフェに少しでも近い雰囲気を提供できないかと思案の毎日。授業とはまったく違った空気感を感じてもらえることを私たちスタッフのミッションと課しています(笑)

3号館入口の立看板が目印。

一階奥の扉に足を運んでみてはいかがでしょうか？

# カウンターの向こう側から。

Photo & Editorial Design by .Yuri Nijima  
Text by .Hisayo Kameyama

## スタッフおススメ資料



### ディオールと私

飯島 百合

French

洗練されたミニマムな作風で知られる、元ジル・サンダーのラフ・シモンズが、老舗メゾンDiorのディレクターに抜擢され、初めてのオートクチュールに挑戦。デビューコレクションまでの舞台裏を記録したドキュメンタリー映画。

彼のイメージ通り、仕事に対する姿勢はやはりストイックではあったが、意外性も垣間見られた。お針子さん達への優しい気遣い、ショーの前には落ち着かず緊張する様子を見せ、デザイナー登場のタイミングを早まり苦笑いしたりする一幕もあり、ファンとしてはキュンとくる場面も。

ディオールというブランドの重圧と闘い、トラブルを乗り越え作品が出来上がってゆく過程と、ラストの素晴らしいショーのシーンはやはり美しく、感動的。



### ハンナ・アーレント

亀山 久代

German

1960年代の後半、ナチスの犯罪をめぐる裁判レポートが大きな論争を巻き起こした。エルサレムでの「アイヒマン裁判」を傍聴し、アイヒマンの中に「悪の凡庸さ」に沈み込んだ無思考な「全体主義」を見出した、ハンナ・アーレント。

この映画は、政治哲学という難解な分野をエンターテインメント性をもって、銀幕上に描き上げることに成功している。政治哲学とは無縁な日常を過ごしている人間でも「全体主義」という名の、平凡な人間の行う悪の恐ろしさに否応なく対峙させられる。

アイヒマンはどこにでも生まれる。ナチスの大罪以降も世界各地で同じような悲劇が繰り返されている現実。日本も戦争を起こさないまでも、秘密保護法案・原発再稼働などの数々の問題を抱えている。アーレントの言う「思考停止」の足音がひたひたと聞こえる。人間は、決して、考えることをやめてはならない。作品の終盤、アーレントの学生たちに向けての「8分間スピーチ」は圧巻である。指差され「あなたの中にアイヒマンはいませんか?」と、じりじりと歩み寄られている気持ちになる。



### Glee

中西 悠菜

English

2009年から放送が開始され、新しいミュージカル・ドラマとしてアメリカで大ヒットし、シーズン1~6まで続いた大人気のドラマ。日本でも話題になり、熱烈なファンが多く存在する作品のひとつでもあります。

登場人物たちはマイノリティという社会少数派のメンバーで、負け犬「LOSER」と言われ、イジメを受け傷つきながらも前を向いて自分の夢に向かって進んでいく姿が描かれています。歌やパフォーマンスを通して、友情、恋愛、イジメなどのそれぞれの悩みと向き合っていく登場人物たちに共感したり感動したり。実際プロとして活躍しているダンサーやミュージシャン、ブロードウェイを中心に活動しているアクターなどを結集して作られたこともあり、毎回glee部員たちの素晴らしい歌唱力と見ていてわくわくするパフォーマンスも魅力的。

1930年代ごろから最新まで幅広い年代のヒットソングをカバーしているので洋楽好きにはもちろんおすすめです。学校を舞台としているためアメリカの高校生のリアルな日常英会話を聞くことができたり、社会問題となっていることにも触れていたりするので楽しみながら英語を勉強したい人にぜひ見てもらいたい作品です。

2016年10月

LANGUAGE・CAFÉ 5限の部 プログラム

日 月 火 水 木 金 土

EC=English Café CF=Café français

1

LS=Language Café Special

2 3 EC 4 CF 5 EC 6 7 EC 8

Review opinions, reasons, support



Michael Boyce

道を訊く／案内する



Régis Oliviero

Group Assignment and Discussion



Daniel Devolin

Choose group Topic



Peter Lyons

9 10 EC 11 CF 12 EC 13 14 EC 15

What is happiness?



Michael Boyce

道を訊く／案内する



Régis Oliviero

Group Assignment and Discussion



Daniel Devolin

First group topic discussion



Peter Lyons

16 17 EC 18 CF 19 EC 20 21 EC 22

Gratitude.



Michael Boyce

市場で／お店で買い物をする



Régis Oliviero

Group Assignment and Discussion



Daniel Devolin

Second group topic discussion



Peter Lyons

23 24 EC 25 CF 26 EC 27 28 EC 29

Rituals.



Michael Boyce

市場で／お店で買い物をする



Régis Oliviero

Group Assignment and Discussion



Daniel Devolin

Third group topic discussion



Peter Lyons

30 31 EC

Reframing gratitude



Michael Boyce

LANGUAGE・CAFÉ 昼休みの部 : English Café 月・火・水 中文茶座 火 Café français 金

LAN・CAFÉ だより 2016年10月号(第5号)

WEB版 URL :

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/kikanshi.html>

2016年9月25日発行

発行 : 愛知大学豊橋語学教育研究室

〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1

TEL : (0532) 47-4170 FAX : (0532) 47-4184

URL : <http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken>